

## 令和8年度災害医療対策事業計画並びに予算について

**\*\*）救急・災害医療対策事業**

**予算額（災害のみ） ¥2,703,690**

**① 災害医療委員会等の開催**

1回 ¥140,000

各地区医師会から選出された委員等で構成され、災害医療に関する様々な問題について検討を行う。

**② 災害時における JMAT 活動**

災害時は日本医師会 JMAT 要綱に基づき、沖縄県医師会 JMAT チームを編成し被災地への医療支援を行う。

**③ 災害医療研修会の開催**

実施2回+諸謝金等 ¥708,000

我が国で起こり得るさまざまな事象に対し、災害医療救護に関する必要な知識及び技術を学ぶための研修会を開催する。

**④ 災害医療研修会プログラム作業部会の開催**

1回 ¥19,000

災害医療研修会に関するプログラムの内容について検討を行う。

**⑤ 沖縄県災害時 HOT 対策会議の開催**

1回 ¥19,000

県内在宅酸素供給業者（9社）協力のもと、緊急時 HOT 患者（在宅含む）を早期に被災地から避難或いは、酸素供給のできる退避場所等について検討を行うことで、HOT 患者の災害時等における医療支援の継続可能な体制整備を図る。

**⑥ 沖縄県総合防災訓練等各種訓練への積極的な参加**

県防災訓練+消耗品 ¥59,220

那覇空港訓練 ¥14,110

美ら島レスキュー+消耗品 ¥69,220

毎年、実施される県総合防災訓練や那覇空港航空機事故消火救難訓練、美ら島レスキューへ JMAT 沖縄として参加し、各防災機関との連携を図る。

また、各種訓練を通じて顔の見える関係性を構築することで、その地域における災害時に即時対応可能な体制整備に貢献する。

**⑦ 都道府県医師会救急災害医療担当理事連絡協議会並びに災害医療コーディネート研修、全国メディカルコントロール協議会への派遣**

災害医療コーディネート研修 ¥218,380

全国の医師会等と連携を図るとともに、救急・災害医療に関する重要課題や関係機関の取組みについて検討・意見交換を行う。

**⑧ JMAT 研修への派遣**

出張費（基礎編・統括編）¥289,440

日本医師会が主催する JMAT 研修へ医師をはじめとする医療従事者等を派遣し、必要な知識や技術の習得に努める。

**⑨ 九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会並びに九州ブロック災害医療研修会への派遣** **出張費（鹿児島県） ¥595,880**

九州各県医師会と連携を図り、救急災害医療に関する重要課題や研修等について、検討・情報交換を行う。

**⑩ 災害発生時の救急医療体制の整備の実施**

沖縄県と沖縄県医師会における災害時の医療救護に関する協定に基づき、災害発生時に被害の最小化を図るべく、派遣スタッフの登録や備品の整備を行う。

**⑪ 災害医療にかかる関係団体との会議・打合せ等**

災害時の救急災害医療体制の向上を図ることを目的に関係団体との会議・打合せ等を行う。

**⑫ 国民保護事案を想定した訓練の参加**

国ならびに沖縄県では、万が一の事態に備え、地方公共団体及び指定公共機関等との訓練が計画されていることから、本訓練への参加および各防災機関との連携を図るとともに、関係機関との連絡調整体制や情報共有の手順、医療支援における役割分担等について確認を行う。

**⑬ 沖縄県子ども医療電話相談事業（#8000）の実施（沖縄県委託事業）**

救急病院への不要不急の受診抑制や救急外来における電話対応の緩和、更に小児患者の保護者の不安解消を図ることなどを目的に、沖縄県、沖縄県看護協会、沖縄県薬剤師会等と連携し、事業実施にあたる。また、県民への事業周知を一層促進し、日常生活の中で#8000を身近に感じてもらえるよう従来の広報に加え、新たな広報手法について検討・実施する。

**⑭ 離島における救急対策、安全対策の検討**

ドクターヘリ運航事業や沖縄県急患搬送関係機関連絡会議に担当役員を派遣し、安全な患者搬送について検討を行う。

**⑮ 救急（小児含む）医療ひっ迫解消に向けた検討**

県内の救急医療ひっ迫の解消に向け、各関係団体や関係する診療科の医師、医療従事者等と情報共有や課題解決に向けた検討を行う。

**鹿児島県医師会と宮崎県医師会との意見交換会 ¥297,440**

**その他通信費**  
衛星携帯（ワイドスターII）  
衛星携帯（アイサットフォン）  
衛星インターネットStarlink等 **¥174,000**

**その他消耗品**  
JMATポロシャツ **¥100,000**